

2023年8月2日

TREホールディングス株式会社

サステナビリティ・リンク・ボンド発行に関するお知らせ

当社は、サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワークを策定し、サステナビリティ・リンク・ボンドを発行（以下、本発行）する予定であり、本日、本発行に向けた社債の訂正発行登録書を関東財務局へ提出しましたので、お知らせします。

1. 本発行の目的及び背景

当社グループは、2021年10月の設立と同時に「中期経営計画～高度循環型社会・脱炭素社会への挑戦～」(以下「中計」)を策定・公表しました。中計では、基本戦略として「高度循環型社会の実現に向けたリサイクル事業の深化」、「脱炭素社会の実現に向けたエネルギー事業の推進」、「新たな技術開発、ビジネスモデル構築への挑戦」、「サステナビリティ経営の実践」を掲げております。

当社グループは、「総合環境企業」として、「高度循環型社会」および「脱炭素社会」の実現に貢献することを使命としており、優先的に取り組むべき課題を5つのマテリアリティに整理して目標として公表をしています。

特に、CO₂排出量の削減については、経営統合5年後にあたる2026年度に自社の使用電力におけるカーボンニュートラルを達成すること、また2050年度までにScope1, 2, 3においてカーボンニュートラルを達成することを目標としています。また、サーキュラーエコノミーへのシフトを加速させるべく、廃棄物や使用済製品から、徹底した有価物回収や搬出品の付加価値化、製品化、未利用資源の活用などの再資源化ニーズにも積極的に取り組むことを目標としております。

今般、当社グループの「事業を通じた社会課題の解決」に必要な資金調達を実施するに際して、幅広いステークホルダーのみなさまに対して、当社グループの取り組みについてご理解を深めていただく重要な機会と考え、事業活動の根幹に関連するKPIを設定した、サステナビリティ・リンク・ボンドを発行することに致しました。

2. 本発行の概要

発行体名	TREホールディングス株式会社
発行時期	2023年8月下旬以降(予定)
発行年限	5年(予定)
発行額	100億円(予定)
KPIs	<u>KPI-1</u> : Scope1, 2におけるCO ₂ 排出量削減率(基準年度:2013年度) <u>KPI-2</u> : 再資源化率
SPTs ※ ¹	<u>SPT-1</u> : 2026年度におけるScope1, Scope2のCO ₂ 排出量を35.18%削減(基準年度:2013年度) <u>SPT-2</u> : 2026年度における再資源化率を92.72%
SPTsの判定日	2027年9月末日
債券特性	SPTsの達成状況により、債券特性は変動します。変動内容は、以下(1)寄付又は(2)排出権又は証書の購入を想定しています。

	<p>(1) 寄付</p> <p>SPTs が達成された旨が記載された第三者検証済のレポートが判定日までになされなかった場合、償還日までに以下の金額を適格寄付先に支払います。</p> <p>SPT-1: 社債発行額の 0.05%</p> <p>SPT-2: 社債発行額の 0.05%</p> <p>適格寄付先とは、未達となった SPTs の改善に関連し、気候変動・リサイクル等への貢献に資する、公益社団法人・公益財団法人・国際機関・自治体認定 NPO 法人・地方自治体やそれに準ずる団体・組織です。寄付先については、償還日までに必要な決議を経て決定します。</p> <p>(2) 排出権又は証書の購入</p> <p>SPTs が達成された旨が記載された第三者検証済のレポートが判定日までになされなかった場合、償還日までに以下の金額の排出権(CO₂削減価値をクレジット・証券化したもの)又は証書(グリーン電力証書、非化石証書等)を購入します。不可抗力事項等(取引制度の規制等の変更等)が生じ、排出権又は証書の購入を選択できない場合は、適格寄付先への寄付を実施します。</p> <p>SPT-1: 社債発行額の 0.05%</p> <p>SPT-2: 社債発行額の 0.05%</p>
主幹事	<p>三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社</p> <p>東海東京証券株式会社</p> <p>野村証券株式会社</p>
適合性評価	<p>サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワークについて、以下の原則及びガイドライン等と適合していることを、独立した外部機関である株式会社格付投資情報センターより評価レポートを取得しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> - ICMA※²サステナビリティ・リンク・ボンド原則 2023 - 環境省サステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン 2022 年版 - 環境省サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2022 年版 - LMA※³、APLMA※⁴、LSTA※⁵サステナビリティ・リンク・ローン原則 2023
ストラクチャリング・エージェント	<p>三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社</p>

- ※¹ SPT サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(サステナビリティ・リンク・ボンドの発行条件を決定する当社グループの重要なサステナビリティ指標に基づく目標)
- ※² ICMA 国際資本市場協会(International Capital Market Association:ICMA)
- ※³ LMA ローン・マーケット・アソシエーション
- ※⁴ APLMA アジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーション
- ※⁵ LSTA ローン・シンジケーション&トレーディング・アソシエーション

ご参考: [サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク
株式会社格付投資情報センターのセカンドオピニオン](#)

以上